



2025 年 12 月 12 日

各 位

会 社 名 名 古 屋 鉄 道 株 式 会 社
代表者名 取締役社長 高 崎 裕 樹
(コード：9048、東証プライム・名証プレミア)
問 合 せ 先 執 行 役 員 江 尾 国 博
総務部長兼広報部長
(TEL. 052-588-0813)

名古屋駅地区再開発計画及び名鉄名古屋駅再整備計画の
スケジュール変更ならびに現計画の再検証及び見直し着手について

当社は、2025 年 3 月 24 日付の「名古屋駅地区再開発計画について」及び 2025 年 5 月 26 日付の「名古屋駅地区再開発計画に関する共同事業者間の事業化の決定及び名鉄名古屋駅再整備計画等について」において公表しました、名古屋駅地区再開発計画及び名鉄名古屋駅再整備計画（以下、総称して「現計画」といいます。）について、本日開催の取締役会において、下記のとおり現行のスケジュールを変更するとともに、現計画の再検証及び見直しに着手することを決議しましたので、お知らせします。

記

1. スケジュールの変更

(1) スケジュール変更の理由

上記計画について、解体・新築工事の施工予定者選定を進めてきましたが、応募参加者から、人材確保難により現計画での解体・新築工事の施工体制の構築が困難であることを理由に、2025 年 11 月 26 日付で入札辞退届が提出されました。これにより、解体工事着手等が大幅に遅延することが確実となったためです。

(2) スケジュール変更の内容

	変更前	変更後
解体着工	2026 年度	未定
新築着工	2027 年度	未定
1 期本工事竣工	2033 年度	未定
2 期本工事竣工	2040 年代前半	未定

2. 現計画の再検証及び見直し着手

(1) 現計画の再検証及び見直し着手の理由

上記の施工予定者選定は、現計画の事業規模、工事の難易度、長期にわたる工事期間等を勘案して進めてきましたが、現計画に対応する施工体制の構築は困難であるとの申し入れがありました。加えて、概算工事費及び工事期間が、技術協力者（ゼネコン各社）とともに相当期間をかけて検討・精査した当初想定を大幅に上回る見込みとなり、事業を推進する前提が大きく変わったためです。

(2) 再検証及び見直し対象となる計画

- ・名古屋駅地区再開発計画（バスターミナル再整備含む）
- ・名鉄名古屋駅再整備計画

(3) 再検証及び見直し着手の時期

ただちに、現計画の再検証及び見直し検討に着手します。

見直しの方向性などは、まとまり次第、改めてお知らせします。

3. グループ既存施設への主な影響

スケジュール変更ならびに現計画の再検証及び見直し着手による当社関連施設の営業予定は以下のとおりです。

- ・名鉄百貨店本店（本館、メンズ館）の営業終了：2026年2月28日（予定どおり）
- ・名鉄バスセンター、名鉄グランドホテル、スカイパーキング等：未定

4. 今後の見通し

本件による当社連結業績への影響は現在精査中です。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせします。

以上